【樹木の部屋】

ハナカイドウ（バラ科リンゴ属 Malus halliana）

和名；ハナカイドウ(花海棠)

別名；カイドウ(海棠)、スイシカイドウ(垂絲海棠)、

ナンキンカイドウ(南京海棠)　　英名； Hall crabapple

バラ目　落葉小高木　　原産地； 中国

花言葉； 艶麗、美人の眠り、温和、友情　　花の色； 桃、白

←↓↘ 写真－１、２、３ ハナカイドウ
撮影日：2020 年 04 月 10 日
撮影場所：倉敷市郊外にて
撮影者：Ｍ さん

倉敷市郊外の民家に咲いていました。

ハナカイドウは中国原産の落葉小高木で、樹高 5mほどに生長し、桃色の花を咲かせたあとに実をつけます。丈夫で枯れにくいことから庭木や盆栽として昔から広く親しまれてきたそうです。半開状で茎に沿って垂れるようにして花を咲かせることから、「垂糸海棠(スイシカイドウ)」とも呼ばれ、観賞用として人気の高い植物だそうです。

←↘ 写真－４、５ハナカイドウの葉
撮影日：2020 年 04 月 10 日
撮影場所：倉敷市郊外にて
撮影者：Ｍ さん

和名の由来は、中国名の「海棠」をそのまま読んだもので、近縁種にミカイドウ（実海棠、Malus micromalus）、ノカイドウ（野海棠、Malus pontanea）などがあります。

江戸時代初期に日本に渡来し、それより前の１５世紀に渡来した、実の大きな「実海棠（みかいどう）」に対して花が美しいので「花海棠」と命名されたそうです。

ハナカイドウの開花時期は、4～5 月で花弁数は 5～10 枚、花柄長は 3～6cm です。9～10 月頃になると果実径が 2cm ほどの実が赤く熟します。

ハナカイドウにはいくつもの品種がありますが、その多くは蕾が赤く、花が開くと白っぽい桃色に変化します。紅の蕾が開花すると桃色に、そして徐々に色が薄くなり白い花弁に変わり、散り際に葉が生えてくる種類もあるそうです。

大きな木なら、花が満開になると桜のような華やかさを演出してくれます。また、先端から順に花をゆっくりと咲かせることから、長期間、花を楽しむことができます。